

コロナ禍での中止を経て2年半越しの“復活”『影のない女』  
 “恋の試練”がテーマのモーツァルトの名作『コジ・ファン・トゥッテ』  
 愛、友情、信頼…人生の悲喜交々を芸術で感じる2作品が上演

『影のない女』 『コジ・ファン・トゥッテ』 2024年4月20日(土)チケット一般発売

公益財団法人東京二期会は、ドイツのボン歌劇場との共同制作により、ドイツオペラを代表する名作りヒャルト・シュトラウス『影のない女』を2024年10月24日(木)から東京文化会館にて上演します。22年2月に予定していましたが、コロナ禍の影響を受けて公演中止を余儀なくされてきました。その直後から公演実現にむけて準備を再開し、クラウドファンディングを実施し、この度、世界に先駆けて東京でワールドプレミアが実現いたします。

また、フランスのシャンゼリゼ劇場ほかとの共同制作により、フランス最高峰のオペラ演出家ロラン・ペリーによる新制作モーツァルト『コジ・ファン・トゥッテ』を、24年9月5日(木)から新国立劇場オペラパレスにおいて開催いたします。

この2演目のチケットを4月20日(土)より一般発売いたします。



舞台芸術、パフォーミングアーツの「復活」を象徴！コロナ禍を乗り越えて『影のない女』を上演します

『影のない女』は、ドイツオペラを代表する名作であり、これまで歴史的な“復活”を象徴するシーンで上演されてきた、祝祭色に満ちた大作です。

初演は1919年10月。ウィーン国立歌劇場の、第一次世界大戦後最初の演目として舞台を飾り大成功を収めました。第二次世界大戦後もウィーン国立歌劇場、バイエルン州立歌劇場の再建記念公演のひとつとして上演されるなど、これまでに数々の記念碑的なシーンを飾る演目として上演されてきました。作品の規模も大きいので、上演回数自体は多くはなく、国内での貴重な鑑賞の機会となる今回は東京二期会にとっても初演となります。

東京二期会は当初、2022年2月に創立70周年記念として公演を予定していましたが、コロナ禍の影響を受けて、一度公演を中止せざるをえませんでした。しかし、芸術の灯を絶やさないというオペラ関係者の熱い想いや、オペラファンの方々のクラウドファンディングを通じたご支援により、まさに“復活”し、公演実現に至ることができました。

「アフターコロナ」の時代に突入し、舞台芸術、パフォーミングアーツの完全復活を象徴する公演にするべく、傑作『影のない女』をお贈りいたします。



(c)Werner Kmetitsch

演出のペーター・コンヴィチュニーは1980年代から現在にいたるまで、革命的な手法でオペラを演出し、現代にも通用するリアリティをもったドラマとして、聴衆に常に新しい衝撃と感動を与えてきた世界的巨匠です。東京二期会とは、2006年以来5演目を手掛け、必ず自ら来日して日本のキャストと1か月以上にわたる綿密な稽古を重ねることで、世界の他の劇場でも類をみないほどの完成度の高い舞台を作り上げてきました。

『影のない女』は、コンヴィチュニーにとっても初演出となる作品。今回も、世界的巨匠が生み出す全く新しい舞台「**コンヴィチュニーの『影のない女』**」が誕生します。どのような舞台になるか、世界が注目する今回のワールドプレミアにぜひお越しください。

■東京二期会発行オペラ情報誌『二期会通信OPERA』最新337号に特集掲載中

[https://nikikai.jp/items/nikikai\\_opera\\_337.pdf](https://nikikai.jp/items/nikikai_opera_337.pdf)



東京二期会オペラ劇場公演、過去のコンヴィチュニー演出から（撮影＝三枝近志）  
左＝『皇帝ティトの慈悲』 中央＝『エフゲニー・オネーギン』 右＝『マクベス』

指揮はアルゼンチンの俊英アレホ・ペレス。コンヴィチュニーとの名タッグで魅せる！



指揮は、アルゼンチン生まれの英才で、ザルツブルク音楽祭はじめ欧州一流の歌劇場、音楽祭を席捲し、現在フランダース・オペラの音楽監督を務めるアレホ・ペレス。

東京二期会では、昨年宮本亞門演出『午後の曳航』に続いての登場です。コンヴィチュニーとも世界各地で協働を重ねているペレスですが、東京二期会でも18年『魔弾の射手』以来のタッグが実現いたします。



東京二期会オペラ劇場『魔弾の射手』  
カーテンコールの様子

### 〈オペラ『影のない女』あらすじ〉

東南の島々に棲む皇帝は、影を持たぬ霊界の王カイコバートの娘と恋に落ち、皇后とした。皇帝は3日間、狩りに出かけると宮殿を発つ。皇后のもとへ一羽の鷹が舞い降り、「影を宿さぬ皇后のため／皇帝は石と化すさだめ」と告げる。期限まであと3日。乳母は、人間をだまして影を買い取ることができると皇后に教え、二人は人間の世界へと降りていく。染物屋バラクとその妻も子どもに恵まれていない。乳母は、自分たちが3日間召使として仕え、妻の影を買い取る契約を交わすが、妻の耳には生まれざる子どもたちの恨みの声が聞こえ、夫を拒否してひとり眠りにつく。

妻は若い男との不貞をでっち上げ、乳母と皇后の二人に影を売り払い、母親になることを諦めたと告げる。温厚なバラクも激怒し、妻を殺すと宣言すると、天から裁きの刀が降り、地が裂け、バラクと妻を飲み込み、家は崩れ去る。

染物屋夫妻を救うため、裁きの場へ出ることを決意する皇后。そこに石となった皇帝の姿が浮かぶ。湧き出る「生命の水」を飲めば、影を得られるという試練に、「飲まぬ」と宣言する皇后。すると皇后の体に影が宿り、皇帝はもとの姿へ。染物屋夫婦は互いの無事を喜び合う。

東京二期会は、昨年度に続き、文化庁が統括する「日本博2.0」事業として、本年10月18日(金)から27日(日)までの10日間、東京文化会館を中心にオペラの魅力を伝えるイベント「Tokyo Opera Days」を開催します。

アジアでは随一のオペラ公演の規模と質を誇る東京。その文化、観光的価値を国際的にアピールしつつ、オペラの裾野を広げて多くの方にその魅力に触れていただくことを目的としたイベントです。昨年も10月に開催し、伝説的オペラ歌手マリア・カラス展や映画上映、野外オペラやバックステージツアーなど様々な企画とメイン公演としてオペラ『ドン・カルロ』を上演し、7日間でのべ約15,000人のご来場者がありました。

今年は期間を10日間に延長。オペラ衣裳展、野外オペラ、ミニコンサート、トークショーなどさらにバージョンアップしてお贈りします。そして、オペラ『影のない女』公演は、Tokyo Opera Daysのメインイベント。まさに祝祭を締めくくるにふさわしい作品の世界プレミエで、オペラの魅力を世界に発信します。

昨年開催の様様



## T o k y o O p e r a D a y s

2024年10月18日(金)～27日(日)東京文化会館他にて開催

詳細は今後東京二期会HPでお知らせいたします。nikikai.jp

### フランス最高峰のオペラ演出家ロン・ペリーによる モーツァルトの名作『コジ・ファン・トゥッテ』 シャンゼリゼ劇場のエスプリ薫る舞台で始まる新シーズン



©Carole Parodi

東京二期会は、2024/2025シーズンのオープニングを『コジ・ファン・トゥッテ』で迎えます。『コジ・ファン・トゥッテ』はモーツァルト五大オペラのひとつと称される名作。「恋の絆の深さを証明するため、お互いの恋人を入れ替える」という、オペラ史上最も物議を醸した「恋愛実験」物語が展開します。

今回は、いずれも東京二期会初となるシャンゼリゼ劇場、カーン劇場、パシフィック・オペラ・ヴィクトリアとの共同制作。フランス最高峰のオペラ演出家ロン・ペリーによる新制作でお楽しみいただきます。

ペリーは、パリ・オペラ座、ロイヤル・オペラ・ハウス、メトロポリタン歌劇場、グラインドボーン音楽祭等、主要な歌劇場、音楽祭で活躍するフランスを代表するアーティストのひとり。東京二期会には、21年に絶賛されたヴェルディ『ファルスタッフ』以来2度目の登場です。

本プロダクションは、22年3月シャンゼリゼ劇場でワールドプレミエを迎えました。ペリーの卓越したイマジネーションと、フランスらしい軽妙洒落なセンスが随所に光る舞台は、オペラ未体験の方でも気軽に楽しんでいただけることでしょう。どうぞご期待ください。



シャンゼリゼ劇場©Hartl Meyer



シャンゼリゼ劇場公演より©V. Pontet



©ShumpeiOhsugi

また同プロダクションは、東京公演の後、9月14日(土)三重県総合文化会館大ホール、21日(土)岡山芸術創造劇場ハレノワ大劇場を巡ります。三重・岡山公演は6月16日(日)よりチケット一般発売を開始いたします。

指揮には、小澤征爾の薫陶を受け、現在欧州一流の歌劇場、オーケストラで活躍するクリスティアン・アルミンクが、3都市全公演に登場します。その高貴な佇まいと流麗な音楽作りに加えて、その端麗な指揮ぶりから「貴公子」と呼ばれ、国内でも人気を集めるマエストロです。今年4月には、新たに広島交響楽団音楽監督に就任しました。

今回、東京、三重では10年間音楽監督を務めた新日本フィルハーモニー交響楽団、そして岡山では今新たに率いる広島交響楽団との共演が実現。「永遠の貴公子」と謳われる世界のマエストロが、この秋、3都市でモーツァルトの極上の音楽を奏でます。

#### 〈オペラ『コジ・ファン・トゥッテ』あらすじ〉

男たちが議論をしている。青年士官のグリエルモとフェランドは、姉妹である恋人たちの貞節を信じて疑わない。老哲学者ドン・アルフォンソ曰く「女の貞淑さを信じているなんて何とおめでたい」と。そこでお金を賭けた勝負になる。即ち恋人たちは浮気をするか否か？ 姉妹の恋人たち、フィオルディリージ（グリエルモの恋人）とドラベッラ（フェランドの恋人）が貞節を守れば、青年たちの勝ちである。

一計を案じたドン・アルフォンソはお芝居を仕組み、二人を変装させ、恋の相手を替えて口説かせることに。士官たちは出征するとの触れ込みで恋人たちに別れを告げ、別離のシーンが展開される。ドン・アルフォンソに買収された小間使いデスピーナは姉妹に浮気を巧みに勧める。

そこに士官たちが巧みに化けた外国からの新しい求愛者が現れる。それぞれが別の恋人にプロポーズを。まだ、姉妹の心は堅固。にせの外国人たちは毒を仰ぐふりまでするが…

デスピーナのそそのかしが効を奏してか姉妹の心に隙が出始める。求愛を続ける外国人に、先ずはドラベッラが新しい恋人に心を寄せるが、フィオルディリージは後ろめたさになお逡巡。競争心を刺激されたフェランドはフィオルディリージに厭くことなき求愛。ついにフィオルディリージとドラベッラの姉妹は新しい恋人を選ぶことに。ドン・アルフォンソがそこに登場し、さて、それから……。

#### アフターコロナの今、若年層にも感じてもらいたい「オペラ」という総合芸術 <東京二期会からのメッセージ>

オペラは音楽と文学と美術が融合したまさに「総合芸術」です。その壮大なスケールと美しいメロディは、聴く者の心を魅了し、感情を揺さぶる力があります。

単なる歌や演技ではなく、舞台や衣裳、照明など、すべてが一体となって物語が表現され、英雄の勇ましさや恋人たちの切ない想い、そして悲劇の結末まで、オペラは人間の感情を豊かに描き出します。若年層の方にとっては、オペラが古くて難解なものと思われることもあるかもしれませんが、しかし、実際に足を運び、舞台の一部となると、その魅力に一気に引き込まれることでしょう。オペラの世界は、躍動感にあふれ、繊細かつ力強い音楽が心を震わせます。その迫りに圧倒されながら、自分自身の感情が舞台と一体化する瞬間を味わってみてください。

愛や友情、人間関係の複雑さや困難さ、そして人生の喜びや悲しみなど、これらのテーマは若い方の心にも深く響くはずです。オペラは言葉や国境を超え、人々の心を結びつける共通の言語とも言えるのです。オペラの舞台に参加し、壮大な音楽と感動的なストーリーに身を委ねてください。きっと、新たな世界や感動が広がることでしょう。オペラの魅力を知り、その美しさを存分に味わってください。あなたの心に、オペラが深く刻まれることを期待しています。

令和6年度日本博2.0事業（補助型）I（独立行政法人日本芸術文化振興会／文化庁）

Tokyo Opera Days

ボン歌劇場との共同制作 東京二期会オペラ劇場

## R. シュトラウス『影のない女』 《ワールドプレミア》

オペラ全3幕 日本語及び英語字幕付原語(ドイツ語)上演

東京文化会館 大ホール

2024年10月24日(木) 18:00、25日(金)14:00、26日(土) 14:00、27日(日)14:00

※開場は開演の60分前

指揮：アレホ・ペレス 演出：ペーター・コンヴィチュニー

舞台美術：ヨハネス・ライアカー 照明：グイド・ペツォルト

ドラマトゥルク：ベッティナー・バルツ

合唱指揮：大島義彰 演出助手：太田麻衣子、森川太郎

舞台監督：幸泉浩司 公演監督：佐々木典子

公演監督補：大野徹也

	10月24日(木)/26日(土)	10月25日(金)/27日(日)
皇帝	伊藤達人	樋口達哉
皇后	富平安希子	渡邊仁美
乳母	藤井麻美	橋爪ゆか
伝令使	友清 崇、高田智士（全日）	
若い男の声	高柳 圭	下村将太
鷹の声	宮地江奈	種谷典子
バラク	大沼 徹	清水勇磨
バラクの妻	板波利加	田崎尚美
バラクの兄弟	児玉和弘、岩田健志、河野鉄平	岸浪愛学、的場正剛、狩野賢一

合唱：二期会合唱団

管弦楽：東京交響楽団

チケット料金（全席指定・税込）

[10月24日(木)公演] プレミア・スペシャル料金

S19,000円 A15,000円 B11,000円 C9,000円 D6,000円 学生2,000円 U-39席10,000円

[10月25日(金)、26日(土)、27日(日)公演]

S20,000円 A16,000円 B12,000円 C9,000円 D6,000円 学生2,000円 U-39席10,000円

※U-39席は二期会チケットセンターでの取扱いがございません。びあ・イープラスWEBおよびチケットスペース電話のみのお取扱いです。

※チケットお申込みと同時に「二期会オペラ愛好会」へもご入会いただけます（チケット先行予約、割引サービスあり）。

発売日（一般）：2024年4月20日(土)～

チケットのご予約・お問合せ：二期会チケットセンター

TEL.03-3796-1831（月～金=10:00-18:00/土=10:00-15:00/日・祝=休）

インターネットご予約は、「二期会チケット」で「検索」 <https://nikikai.jp/ticket>

その他プレイガイド

チケットスペース 03-3234-9999

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>（Pコード：263-837） ローソンチケット <https://l-tike.com>（Lコード：30192）

イープラス <https://eplus.jp/> 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650（10:00～18:00）

主催：公益財団法人東京二期会

支援：大村未来基金、宗次未来基金

協賛：みずほ証券株式会社、三井不動産株式会社

シーズン特別協賛：

興和株式会社、ソニーフィナンシャルグループ株式会社、ダイドー株式会社、株式会社三井住友銀行

文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会  
シャンゼリゼ劇場、カーン劇場、パシフィック・オペラ・ヴィクトリアとの共同制作  
東京二期会オペラ劇場

## モーツァルト 『コジ・ファン・トゥッテ』 《新制作》

オペラ全2幕 日本語及び英語字幕付原語(イタリア語)上演

新国立劇場 オペラパレス

2024年9月5日(木) 18:00、6日(金)14:00、7日(土) 14:00、8日(日)14:00

※開場は開演の60分前

指揮：クリスティアン・アルミンク 演出・衣裳：ロラン・ペリー  
演出補：クリスティアン・レート 照明：ジョエル・アダン 装置：シャンタル・トマ  
衣裳補：ジャン＝ジャック・デルモット 合唱指揮：キハラ良尚 演出助手：三浦安浩  
舞台監督：村田健輔 技術監督：大平久美、村田健輔 公演監督：澤畑恵美 公演監督補：高田正人

	9月5日(木)/7日(土)	9月6日(金)/8日(日)
フィオルディリージ	種谷典子	吉田珠代
ドラベッラ	藤井麻美	小泉詠子
グリエルモ	宮下嘉彦	小林啓倫
フェランド	糸賀修平	金山京介
デスピーナ	九嶋香奈枝	七澤結
ドン・アルフォンソ	河野鉄平	黒田博

合唱：二期会合唱団 新国立劇場合唱団 藤原歌劇団合唱部

管弦楽：新日本フィルハーモニー交響楽団

チケット料金 (全席指定・税込)

[9月5日(木)公演] プレミア・スペシャル料金

S19,000円 A15,000円 B11,000円 C9,000円 D6,000円 学生2,000円 U-39席10,000円

[9月6日(金)、7日(土)、8日(日)公演]

S20,000円 A16,000円 B12,000円 C9,000円 D6,000円 学生2,000円 U-39席10,000円

※U-39席は二期会チケットセンターでの取扱いがございません。ぴあ・イープラスWEBおよびチケットスペース電話のみでのお取扱いです。

※チケットお申込みと同時に「二期会オペラ愛好会」へもご入会いただけます(チケット先行予約、割引サービスあり)

発売日(一般)：2024年4月20日(土)～

チケットのご予約・お問合せ：二期会チケットセンター

TEL.03-3796-1831 (月～金=10:00-18:00/土=10:00-15:00/日・祝=休)

インターネットご予約は、「二期会チケット」で「検索」 <https://nikikai.jp/ticket>

その他プレイガイド

チケットスペース 03-3234-9999

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード：263-836) ローソンチケット <https://l-tike.com> (Lコード：30191)

イープラス <https://eplus.jp/> 新国立劇場ボックスオフィス 窓口販売のみ (11:00～18:00)

主催：公益財団法人東京二期会

共催：公益財団法人新国立劇場運営財団 公益財団法人日本オペラ振興会

支援：大村未来基金、宗次未来基金

助成：公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団

シーズン特別協賛：

興和株式会社、ダイドー株式会社、ソニーフィナンシャルグループ株式会社、株式会社三井住友銀行

<全国公演>

助成：文化庁文化芸術振興費補助金 舞台芸術等総合支援事業（全国キャラバン） | 独立行政法人日本芸術文化振興会  
2024グランドオペラフェスティバル in Japan  
東京二期会オペラ

## モーツァルト 『コジ・ファン・トゥッテ』

オペラ全2幕 日本語字幕付原語(イタリア語)上演

三重県文化会館 大ホール

2024年9月14日(土) 14:00開演 13:30開場

岡山芸術創造 ハレノワ 大劇場

2024年9月21日(土) 14:00開演 13:15開場

指揮：クリスティアン・アルミンク 演出・衣裳：ロラン・ペリー

演出補：クリスティアン・レート 照明：ジョエル・アダン 装置：シャンタル・トマ

衣裳補：ジャン=ジャック・デルモット 合唱指揮：キハラ良尚 演出助手：三浦安浩

舞台監督：村田健輔 技術監督：大平久美、村田健輔

	[三重]	[岡山]
	9月14日(土)	9月21日(土)
フィオルディリージ	種谷典子	吉田珠代
ドラベッラ	藤井麻美	小泉詠子
グリエルモ	宮下嘉彦	小林啓倫
フェランド	糸賀修平	金山京介
デスピーナ	九嶋香奈枝	七澤結
ドン・アルフォンソ	河野鉄平	黒田博

合唱：二期会合唱団 新国立劇場合唱団 藤原歌劇団合唱部

管弦楽：新日本フィルハーモニー交響楽団（三重） 広島交響楽団（岡山）

チケット料金（全席指定・税込）

[9月14日(土) 三重公演]

S10,000円 A8,000円 B6,000円 C4,000円 U30割：各席種50%割引 ※当日年齢証明要提示

[9月21日(土) 岡山公演]

SS(有料プログラム付)13,000円 S10,000円 A8,000円 B6,000円 C4,000円 U24 3,000円 U18 1,000円(限定50席)

発売日：6月16日(日)\*二期会チケットセンター発売初日はWEBのみ。電話受付は17日(月)10:00開始

チケットのご予約・お問合せ：

二期会チケットセンター 03-3796-1831（月～金=10:00-18:00/土=10:00-15:00/日・祝=休）

インターネットご予約は「二期会チケット」で「検索」<https://nikikai.jp/ticket/>

主なプレイガイド

（三重）三重県文化会館チケットカウンター（電話・窓口）059-233-1122

（10:00～17:00/月曜休館（月曜祝日の場合は翌平日休館））

三重県文化会館WEBチケットサービスエムズネット <https://p-ticket.jp/center-mie/>

（岡山）岡山芸術創造劇場ボックスオフィス（電話・窓口）086-201-2200（休館日を除く10:00～18:00）

（インターネット予約）<https://piagettii.s2.e-get.jp/ocacticket/pt/>

岡山シンフォニーホールチケットセンター（電話・窓口）086-234-2010（休館日を除く10:00～18:00）

主催：一般社団法人グランドオペラジャパン、公益財団法人東京二期会、（岡山）公益財団法人岡山文化芸術創造

共催：（三重）三重県文化会館 [指定管理者：公益財団法人三重県文化振興事業団]

（岡山）岡山市

シーズン特別協賛：

興和株式会社、ガイドー株式会社、ソニーフィナンシャルグループ株式会社、株式会社三井住友銀行